



すてい〜る

目次

●特集 第4回定時総会・創立20周年記念式典

●「第4回定時総会」を開催	1
●創立20周年記念式典	3
●支部だより 各支部でも総会を開催	5
●青年部会「第4回定時総会」を開催	7
●突然おじゃま 青山信一 青山特殊鋼(株)代表取締役社長	8
●「はがねの日」記念行事	9
●平成27年度特殊鋼販売加工技士[上級編]資格認定式	11
●いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—豫洲短板産業株式会社	13
●理事会・委員会報告	14
●事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

「第4回定時総会」を開催



平成28年6月6日(月)、全特協は東京都千代田区の「パレスホテル東京」において、第4回定時総会並びに協会法人化20周年記念式典を開催した。

出席正会員数66社、委任状提出137社を得た総会では、以下の各議案が審議され、原案どおり満場一致で承認された。

- 第1号議案 平成27年度事業報告書及びその附属明細書承認の件
- 第2号議案 平成27年度賃借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書承認の件
- 第3号議案 平成28年度事業計画、収支予算について
- 第4号議案 常勤理事の報酬額の件
- 第5号議案 理事及び監事の選任の件

新専務理事に宮崎義一氏が就任し、佐久間執行部は2期目を迎える

第1号議案の事業報告では、昨年、新規会員入会が承認され発足した中国支部の活動が、正式に今年度からスタートすることや、人材育成事業では資格認定証が小型で取扱い簡便なプラスチックカード化されること、また、今年度の全国交流イベントとして全国ボウリング大会を秋に開催すること、さらに内外交流事業として9月17日(土)～24日(土)の日程でイタリアへの視察研修を行うことなどが報告された。

第5号議案では、改選期にあたる役員選任が行われ、専務理事であった林健三理事と長年、資格検定委員長を務められてきた湯野沢栄勝理事が今期を以て退任し、その後任としてそれぞれ、元経済産業省の宮崎義一氏が新専務理事に、大同大学副学長教授の井上孝司氏が後任理事として新任された。その他理事・監事はすべて再任となり、佐久間貞介会長は、湊義明、福原実晴の両副会長をはじめとした執行部は2期目を迎えることとなった。



会長あいさつ

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 会長 佐久間貞介

これからの10年は大きなうねりとなって押し寄せる時代の変化に対応するため 流通業界の枠組みを超えた取り組みで改革を進めよう



全特協法人化20周年にあたり、創立当時を振り返ると法人化以前の初代理事長・井上豊治様の強力なリーダーシップと業界発展への熱い思い、また当時の理事役員の皆様の献身的な努力も併せて、関係団体の特殊鋼倶楽部様や当時の通商産業省製鉄課の皆様の力強いご支援なくしては、公益法人の認可をいただくことはできませんでした。そして、その後を引き継いで、今日まで育てていただいた歴代会長の田島清様、三上聡彦様、竹内誠二様、それをサポートされた副会長はじめ先輩役員の方々の努力なくしては今日の全特協の隆盛は為し得ませんでした。本日このように20周年を記念する会を設けることができたのも、それら諸先輩方をはじめ、当協会に関係する全ての皆様のご支援とお力添えの賜物であり、改めて感謝申し上げます。

前回平成8年に10周年記念を執り行いました。それから10年、今回はこの10年を振り返るとともに、これからの10年を考えるよい機会と思い、ひと言ごあいさつ申し上げます。まず、この10年間で大きな経済変動がありました。ひとつはリーマンショックに端を発した世界金融危機です。もうひとつは、

70円台後半の円高から120円台までの円安というジェットコースターのような為替の乱高下、通貨安競争です。これらの経済問題に加えて、東日本大震災と原発事故という痛ましい災害が発生して、その対応に翻弄された10年でした。日本経済はもとより世界経済も疲弊し、特殊鋼流通業界においても原油、鉄鉱石、石炭などの資源や電力料金の高騰による鋼材価格の値上げ問題など、取り巻く環境も非常に厳しく企業経営の継続も危ぶまれるような試練の時代でした。全特協においても厳しい財政状況のもと、会員企業の皆様に将来つながるような納得いく事業を続けることを念頭に活動を続けてきました。

当協会の基本的な活動である人材育成事業は、毎年着実に実施され特殊鋼販売技士・販売加工技士の認定者も年々増え続けてきました。この事業は、当協会の活動の根幹をなすもので今後も、なお一層充実した制度となるように改善を続けていきたいと考えています。また、この10年間ほとんど欠かさずに、海外の特殊鋼流通事情の調査を目的に視察研修を実施してきました。特殊鋼流通業界の将来を考えるヒントを得るために、当初は米国・欧州の同業者を視察する一方、ITを用いた先進流通システムを学ぶ目的で米国シリコンバレーを訪問し、流通管理や在庫管理の手法を学びました。その後、中

国や東南アジア各国のほとんど全てを回り、新興国の成長市場をつぶさに視察してきました。これらの海外研修の成果は、参加された会員企業の社内に蓄積され、大いに役立っているのではないかと思います。

これからの10年を考えてみたいと思います。皆様もご承知のように過去10年とは比較にならないスピードで世の中が変化しています。数年前まではプロ棋士との対戦など、お遊び的な扱いをされていた人工知能AIが、今では自動運転やロボット、工作機械、介護などあらゆる業種・業界で活用の検討が進んでいます。また、IoT、民泊、相乗りなど、数年前には聞かれなかった言葉がマスコミに取り上げられ、各業界のトップ企業に自己変革を迫っています。特殊鋼業界においても、このような状況の変化への取り組みを真剣に考えなければいけません。

凄まじい速度で押し寄せる大きなうねりの中で、自社ビジネスモデルを見直し、新しい舵取りを考えていくには、従来の枠組みや固定観念を取り払い、新たな価値やサービスのあり方を探ることが重要です。そのためには、従来のように流通業者だけの枠組みで考えるのではなく、特殊鋼メーカー様を含めた関係団体が一層交流を深め、知恵を出し合い、業界を改革していくことが重要です。



創立20周年記念式典

記念表彰式



総会終了後は、全特協創立20周年記念式典として、記念表彰式と特別講演会、記念祝賀会が行われた。

表彰式は、法人化後20年の歴史の中でも最も重要な協会事業である人材育成の分野において、長年にわたり多大な貢献をされた各社、個人に感謝状と記念品が贈呈された。表彰にあたり佐久間会長は、「特殊鋼販売技士・特殊鋼販売加工技士研修制度は、会員企業にとって益々重要性が増し、現在では2万人を超える資格認定者が活躍されています。この事業を進めるには、各講座の講師の方々の情熱的で献身的なお力添えがなければ成り立ちませんでした。長年にわたり講師派遣をしていただいた特殊鋼メーカー各社様、本日、特殊鋼販売加工技士検定試験委員会委員長をご退任された湯野沢栄勝様のご貢献に対し、敬意を表します」と述べ、感謝状と記念品を贈呈した。特殊鋼メーカーからは、大同特殊鋼・嶋尾正社長、山陽特殊製鋼・武田安夫社長、愛知製鋼・藤岡高広社長、日立金属・瀬尾武久執行役員高級金属カンパニープレジデント、日本高周波鋼業・久留島靖章専務が登場し、表彰を受けた。

特別講演会



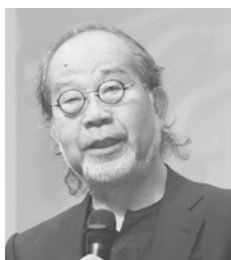
表彰式終了後は、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生を講師に「命を支えるということ」「がんばらないけど“あきらめない”」と題した20周年記念特別講演会を行った。

講演で鎌田先生は、不健康で早死にの地域といわれてきた長野を、日本一長寿の地域に変えた地域医療活動を紹介しながら、「健康や長寿は医学の力だけでやっているように思われるが、統計をみていくと密接に経済とつながっている。経済がよくなって日本は長寿大国にのし上がった。昔のような粗食がいいという。1日1食の飢餓療法などの健康法が流行ったりするが、長い目でみればいいことではない。国民全体が1日1食になって健康が守られるわけではないし、みんなが1日1食になったら経済も干上がってしまう。みんなが1日3食摂ることで、農業も漁業も生産物を運ぶ物流も、すべてがいいサイクルを描いていく」などと、経済発展をベースにした合理的な視点から健康を解説し、減塩や野菜類の摂取を心掛けるなどの健康法をアドバイスした。

また、難民キャンプでの診察など世界各国での長年にわたる人道支援の経験から、「経済の健康と命というのは密接につながっており、場合によっては平和ともつながっている。経済がうまくいってれば戦争をしなくてすみ、人間の健康の基本が守られていく」などと平和の尊さもアピールされた。

【鎌田實氏プロフィール】

1948年東京生まれ。1974年東京医科歯科大学医学部を卒業。その後、長野県の諏訪中央病院に赴任し、現在、名誉院長。諏訪中央病院では地域医療に携わり、「住民とともにつくる医療」を提案し、実践してきた。一方、国内外でも精力的に活躍し、ベラルーシ共和国の放射能汚染地帯への医療支援、テルアビブを拠点にした難民キャンプでの診察、さらに日本では東日本大震災の被災者支援にもいち早く取り組んできた。



創立20周年記念祝賀会

各界から400名が参加し、祝賀会を盛大に開催

特別講演会終了後は、正会員・賛助会員のほか各界からの来賓も含めた約400名の参加を得て、記念祝賀会が盛大に開催された。

冒頭で佐久間会長、ご来賓を代表されて山下隆也・経済産業省製造産業局鉄鋼課長があいさつを行った後、来賓・協会役員ら10名が登壇し、全特協20周年を祝うとともに今後の隆盛を祈念した鏡開きを威勢よく行った。

祝賀会の会場には全特協20年の歴史を振り返るパネルシリーズや当日発刊・配布された20周年記念誌も展示され祝賀に花を添え、活気あふれる懇談は前会長である竹内誠二顧問の中締めで盛況のうちに散会となった。



ご来賓あいさつ



経済産業省 製造産業局鉄鋼課長
山下隆也 様

私が全特協に特に驚愕するのは、任意団体のころから人材育成に励んできたということです。公益性の高い事業を必ずしも求められていないころからコツコツと人材育成に努めてきた。その結果として現在2万人を超える資格者を排出し、それが鉄鋼産業の特殊鋼分野の足腰となっているという紛れもない事実。改めて、その努力に敬意を表する次第です。この20周年はひとつの通過点です。是非、30年、40年、50年と行政と一体となって皆様方と大いに業界を盛り上げていきたいと思っています。

中締め



全特協・顧問
竹内誠二

本日は全国から約400名と大変大勢の方にお集まりいただきありがとうございます。お帰りの際には全特協の歴史と今後の展望をまとめた大変な力作である20周年記念誌を、是非お持ち帰りください。

「入っていたよかった全特協、そして参加して、なおよかった全特協」ということで協会の前途は洋々です。本日の中締めは、元気よく三本締めとさせていただきます。

乾杯発声



特殊鋼倶楽部会長
藤岡高広 様

特殊鋼は、本当に難しい製品だといわれます。それは熱処理とか機械加工とか、難しいハガネの知識をもったプロが売って初めて正しい商品を、よりよいタイミングでお客様に提供できるということなのです。先ほどからお話があったように、特殊鋼販売技士などの人材育成事業で、全特協の皆様が長期間果たしてきた功績は多大なるものがあります。我々を取り巻く環境は厳しいと思いますが、手を取り合ってやっていくことで、いい商品やサービスをつくりあげていきたいと思います。



支部だより

支部総会開催

東京支部 開催日時：平成28年6月17日(金) 開催場所：東京銀行協会「銀行倶楽部」 出席：75社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- 第1号議案 平成27年度事業報告書(案)、平成27年度収支報告書(案)
監査報告書
- 第2号議案 平成28年度事業計画書(案)、平成28年度収支予算書(案)



総会の冒頭で、本年度より導入される地域ブロック制について東日本ブロック長である湊義明・全特協副会長(野村鋼機・代表取締役)より、「会員数の漸減や事業活動のパターン化などを鑑み導入されたブロック制で、協会の活性化を図るべくブロック制を導入した。目的は、これまで既存支部だけで行っていた事業を東日本ブロックであれば東京・北関東・東北の3支部で、お互いに声をかけあいながらやっていこうということ。海外研修、工場見学会などブロック単位で参加率向上や交流の促進・深化を目指していこうということ」と趣旨説明と今期からの協力を呼びかけた。役員改選期にあたる本年度は支部長以下、主要役員が再任となり、内外交流部会・担当委員に佐々木仁氏(中山商工)、広報部会・副部長に黒瀬洋二氏(日立金属工具鋼)が新任されたほか、前年まで広報部会・担当委員だった三上見史氏(ノボル鋼鉄)が経営効率化部会・副部長にスライドする形で選任されるなど3名の小幅改選となった。



総会終了後は懇親会が開催され、冒頭あいさつに立った確井達郎・東京支部長(確井鋼材・代表取締役)は「全特協が法人化20周年の節目の年を迎えた今年は、東京支部としても賛助会員との交流会や企業視察、野球大会やオール関東ゴルフ大会など支部独自の事業を引き続き行いながら、東日本ブロックという新しい枠組みでの新事業も模索していきたい」と抱負を述べ、竹内誠二・全特協顧問(竹内ハガネ商行・代表取締役社長)の発声で乾杯し、和気あいあいとした懇談が行われた。

大阪支部 開催日時：平成28年6月15日(水) 開催場所：ヒルトン大阪 出席：84社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- 第1号議案 平成27年度事業報告(案)
- 第2号議案 平成27年度収支決算(案)
- 第3号議案 役員改選
- 第4号議案 平成28年度事業計画(案)
- 第5号議案 平成28年度収支予算(案)
- 第6号議案 会員異動



役員改選では4期8年努めた福原實晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)が退任し(顧問に就任)、久木田至副支部長(櫻井鋼鉄・代表取締役社長)が新支部長に就任したほか、古池晃・古池鋼業代表取締役社長が副支部長に就任するなど若返りを図った新体制が発足した。

総会後の懇親会で久木田新支部長は「福原前支部長のやり方を踏襲しながらボトムアップでやっていきます。私事ではありますが特殊鋼流通業界に携わり25年、四半世紀が経ちました。52歳ですが、そろそろ恩返しに時期かと深く心に染み渡っています。会員、賛助会員の皆様にお役に立てるような団体にしていきたい」と抱負を述べた。来賓の特殊鋼倶楽部大阪支部・関公彦運営委員長が「急速な円高等経済環境に不安はあるが業界内秩序ある商取引を心掛けたい」と呼びかけ、福岡正彦・ウメトク代表取締役社長の「ビジネスは作り方・売り方・買い方、そしてマーケットよしの四方よしが理想」との掛け声で乾杯を行った。活気あふれる懇談の中締めは福原顧問の「私は本当に大阪支部に育てていただいた。これからも皆さんのお役に立ちたいと思うので久木田支部長がバベルを鳴らしたら飛んできて支えます」と新体制にエールを贈り、散会となった。



名古屋支部 開催日時：平成28年6月15日(水) 開催場所：レセプションハウス名古屋通信会館 出席：80社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成27年度事業報告(案)・決算報告書(案)
- ②平成28年度事業計画(案)・収支予算書(案)
- ③名古屋支部役員及び運営委員選任



冒頭、榎支部長(辰巳屋興業・代表取締役社長)が「震災に見舞われた熊本は地震が治まりつつあるが、経済は落ち込んだ状態にある。特殊鋼業界も決して良い状態ではないが、協力し合って頑張りましょう」とあいさつ。来賓の柳原和男氏(中部経済産業局・製造部製造産業課課長)からは「日本の特殊鋼の確かな品質というブランド力を生かした日本のモノづくりを推し進めていきましょう」とお言葉をいただいた。

総会後、川村妙慶氏(僧侶・アナウンサー)に「～今をより豊かに生きるために～こころをみつめる」というテーマで講演をしていただいた。

佐久間貞介会長(佐久間特殊鋼・代表取締役社長)による「タオル業界も中国の安い製品で追いやられたが、今治タオルは商品開発により日本のモノづくりを復活させた。特殊鋼製品も技術力で生き残れるよう頑張りましょう」との乾杯あいさつの後、川村妙慶氏を交えて終始和やかな交流会となった。

東北支部

開催日時：平成28年6月23日 開催場所：磐梯熱海温泉ホテル華の湯

出席：23社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。

- ①平成27年度事業報告(案)・決算報告書(案)
- ②平成28年度事業計画(案)・収支予算書(案)

冒頭、日下俊之支部長(クサカ鋼材・代表取締役社長)「今年度からすでに始まっておりますブロック制を活用することで、東北支部の伝統を継承しつつも、今まで以上に、より有意義な活動を行っていきたくと考えております」とあいさつ。その後、本部の林前専務理事からブロック制について説明があり、「地方支部の負担をなるべく少なくしてより充実した活動をするということを目的としスタートしました」力強い言葉をいただいた。

総会後の懇親会は、会員相互の親睦を深め、終始和やかなに進む中、散会した。



北関東支部

開催日時：平成28年6月19日(日) 開催場所：りんどう湖ロイヤルホテル

出席：28社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。

- ①平成27年度事業報告(案)・決算報告書(案)・監査報告
- ②平成28年度事業計画(案)・収支予算書(案)・役員改正(案)

長谷川弘和支部長(長谷川ハガネ店・代表取締役)は「今年度から全国3ブロック制を導入し協会活動の活性化に取り組んでいく」とあいさつし、滞りなく議事を進行。東日本ブロック長として出席した湊義明副会長(野村鋼機・代表取締役)は「東北、北関東、東京の3支部で一緒にやれる事業は是非一緒にやろう」と呼び掛けた。新支部長に就任した鈴木至典氏(鈴木機械・代表取締役)は「協調を大事にし交流を深めよう」とあいさつした。

第二部の市況説明会は、永山宏氏(日本高周波鋼業・工具鋼営業部担当次長)を招き、お話を頂いた。続く懇親会は、会員相互の交流を深める良い機会となった。



静岡支部

開催日時：平成28年6月23日(木) 開催場所：静岡グランドホテル中島屋

出席：16社（委任状含む）

次の議題を審議、承認した。

- ①平成27年度事業報告(案)・決算報告書(案)・監査報告
- ②平成28年度事業計画(案)・収支予算書(案)・役員改正(案)

司会の浅井達也副支部長(佐久間特殊鋼)の開会の辞で始まり、原博康支部長(東京鋼機・代表取締役)が「今週末に販売技士3級研修講座が終了する。ぜひ全員に検定試験に合格して欲しい。今年度は1級研修もあり、夏には初の全国大会の予選を兼ねてボウリング大会を開催する」とあいさつし、滞りなく議事を進行。原支部長を再選し、三上忠明副支部長(ノボル鋼鉄・専務取締役)が「全国大会に出るからには優勝を目指して楽しく頑張って頂きたい」と閉会の辞を述べた。

懇親会では石丸陽一郎氏(大同特殊鋼・名古屋営業部第二営業室長)が来賓のあいさつをし、和やかな歓談の後、山内浩次名古屋支部事務局長の中締めて散会した。



中国支部

開催日時：平成28年6月23日(木) 開催場所：シェラトングランドホテル広島

出席：13社（委任状含む）

宇野将英副支部長(野村鋼機・広島支店長)の司会により開会。木村雅昭支部長(深江特殊鋼・代表取締役)の議長のもと、次の議題を審議、承認した。

- ①役員選任(案)
- ②平成28年度事業計画(案)
- ③平成28年度収支予算(案)

総会冒頭で木村支部長は、「協会活動を通して、互いに競い合い、磨き合い、成長する中国支部を目指しましょう」とあいさつ。

その後、懇親会は、本部の福原實晴副会長兼西日本ブロック長(南海鋼材・代表取締役社長)のあいさつ、宇野伸一氏(山陽特殊製鋼・広島支店長)の乾杯の音頭で始まり、盛会のうちに散会となった。



九州支部

開催日時：平成28年6月17日(金) 開催場所：小倉リーセントホテル

出席：16社（委任状含む）

次の議題審議、承認した。

- ①平成27年度 活動・決算報告
- ②平成28年度 役員人事・活動計画

冒頭、吉永博新支部長(特殊鋼機・代表取締役)のあいさつあとの、今回ご参加いただいた本部の福原實晴副会長兼西日本ブロック長(南海鋼材・代表取締役社長)より支部組織の変更に伴い、今後は中央と各支部の連携を高めると同時に全国組織としての体制強化を計っていく旨の説明をいただき、乾杯の発声とともに懇親会がスタート。

会員相互の親睦を深め、終始和やかな会となった。



青年部会「第4回定時総会」を 東北・仙台で開催

今期も引き続き古池部会長を再任 東北特殊鋼、大同DMソリューションの各工場も見学

平成28年6月10日(金)、青年部会は仙台市で部会員16名の参加を得て、第4回定時総会を開催した。

総会は田嶋直副部会長(鐵鋼社・代表取締役社長)の司会ではじまり、冒頭、古池晃部会長(古池鋼業・代表取締役社長)が「東北地区は震災前に一度開催したが、震災後いつかはまた東北地区で開催したいと思っていました。

今回、実現の運びとなりこの定時総会及び工場見学会の準備にご協力いただきました、東京支部の関係者各位に感謝申し上げます」とあいさつし、6月6日に行われた全特協本部の定時総会で報告された平成28年度の事業計画を説明した。また、「この2～3年で青年部会を卒業する方が結構いらっしゃいますので、今後若い人がより参加しやす

い会にしていきたい」と今年度の抱負を語った。

総会では「平成27年度事業報告および収支報告」「平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)」「平成28年度の運営委員の選任(案)」が審議・承認され、部会員の移動については退会1名、新規加入会員2名があり、青年部会会員数は56名となったことが報告された。

【新規加入会員】

■名古屋支部：近藤竜太郎(近藤ハガネ商店)、浅野彰太(浅野鋼材)

【運営委員の退任並びに部会退会】

■東京支部：山田雅郎(ヤマコー代表取締役)

引き続き、平成28年度運営委員による第10回運営委員会が開催され、部会長に古池晃氏を再任。副部会長については9名を前年に引き続き再任したほか、鴨山剛至氏(東海鋼鉄・常務取締役)を新たに選任した。

総会終了後は貸切バスにて以下の工場を視察した。

東北特殊鋼では、主力の鋼材工場のほか、冷鍛工場・精密加工工場・熱処理工場などを見学し、古池部会長は「熱処理工場でスリッパでの見学は初めてで驚いています」と御礼のあいさつをした。また、大同DMソリューション仙台工場では、鋼材工場・SPセンター・プレート加工工場などを見学した後、プロジェクターを使い津田孝良社長より「新5S活動」について説明をしていただいた。見学を振り返り古池部会長は「従業員の挨拶の良さや工場の美化・安全については是非参考にしたい」とあいさつした。



再任された古池部会長



見学先の大同DMソリューション仙台工場



見学先の東北特殊鋼(株)にて

突然おじゃま



青山特殊鋼(株) 代表取締役社長／青山信一

東日本から中部、関西まで国内15拠点の広域をカバーし、工具鋼をはじめとした特殊鋼にとどまらず、磁性材料や建材、制御機器など多岐にわたる商材の取り扱いで業界内に存在感を発揮する、国内屈指の特殊鋼問屋である青山特殊鋼。創業100年の2014年6月に社長に就任し、今年は現法人設立60周年の節目の年を迎える青山信一社長に、全特協をはじめとした業界のことをうかがってみた。

設立60周年を迎えた社業と創立20周年の全特協ともども「先を読んで行動する」をモットーにした課題に取り組む

■設立60年を機に新社屋に建替えを オフィス更新で会社の機能強化も

青山社長は1964年1月、東京都生まれ。慶應義塾大学大学院商学研究科修了後、89年に監査法人系コンサルティング会社に入社し、約20年間、経営コンサルタントとして勤める。その間、ロンドン大ビジネススクールへの留学経験もあり、国際経験も豊富だ。青山特殊鋼には2010年に入社し、11年に取締役、13年に代表取締役専務と経て、現在、社長就任から2年が経過した。

社長就任時は創業100周年だったが、今年は法人設立より60年となり、築50年が経過した本社ビルの建替えに踏み切る。「仮オフィスでの営業を1年半ほど予定し、現本社ビルを解体、新社屋を新築します。隣接する駐車場まで建屋を広げるので新オフィスのフロアはグッと広がります」と、新しいオフィスの利便性向上とワークスタイルの刷新を、今後、社内チームを立ち上げて検討していくという。

「かつてのオフィス設計が今の働き方に合っていないところも出てきています。インターネットの利用をはじめ、社内での時間の過ごし方など考えを変えていくいい機会だと思います」と、節目の年の取り組みに意欲をみせる。

■変化のスピードも増す商環境に 人材育成も含めて対応を

商材の取扱品目の多さもさることながら、拠点ごとにメイン商材が異なる

ことや、さらに近年は大口取引先を中心に集中購買の傾向も強まっている。「以前であれば、東京は東京なりに、大阪は大阪なりに商売をしていればよかったが、青山特殊鋼として統一感のある取り組みが求められてきている」と青山社長は情勢の変化を語る。そのため、各拠点の情報交換を進め、全社最適化を目指すことで、顧客提案など対応力強化を図っている。

未来のことが分からないからこそ、そのときどきで見込まれるシナリオを描き、備えておく「先を読んで行動する」が信条。商売の形態とともに機械加工、熱処理といった高付加価値商品への対応などとともに、若い人材を着実に育てていくことも必要だと考えている。「特に、少子高齢化の進展で人材確保はますます困難になります。女性社員の積極登用も、今後の重要な課題」と、これからの時代に対応した新しい組織づくりに考えを巡らせている。

■法人化20周年を機に協会活動も 会員利益向上を図る検討を

社長就任と同時に理事も務める全特協では、人材育成委員会に所属する。「法人化20周年を迎えた今年、全国を3ブロックで再編する組織変更など協会の活性化を図る取り組みがされています。人材育成の分野でも、フォローアップ研修の新設のほか資格認定制度の対象を、従来の業界から広げて幅広く広報PRしていくなどの案が話

し合われています。すでに女性受講者の中から特殊鋼販売技士1級合格者を輩出しているとおり、こちらでも女性社員の底上げが業界としても重点課題になるでしょう」と、人材の観点からも会員利益向上を目指す取り組みを続けている。協会の各委員会へは、青山社長だけでなく東京本社からは鬼頭弘氏が総務委員会に、大阪支店の上島博文支店長が人材育成委員会に派遣されており、複数のセクションと地域で協会活動をリードしている。

社業、業界活動ともに多忙なため、近年は割ける時間もすっかり減ったとのことだが、国内外の旅行を趣味にする。国内は全都道府県を、海外は約30カ国をこれまでに訪問した。

「それぞれの国柄もあって思い出はたくさんありますが、やはりイタリア、南仏、スペイン等の地中海沿岸は風景も街並みも食文化もすばらしく、のんびりすごせていい旅ができます」とお気に入りの地域の魅力を紹介した。



青山特殊鋼の社員を50年間支えてきた本社ビル。褐色系で濃淡のあるタイルを使用した外観が風格を感じさせる。

「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 4月7日(木) 第12回ボウリング大会 於：東京ドームボウリングセンター

参加者数：100名

[成績]2ゲームトータルピン数・4人1組
(女性はHC10ピン／1ゲーム)

[団体の部]

優勝	清水特殊鋼	1219ピン
準優勝	伊藤忠丸紅特殊鋼Aチーム	1212ピン
3位	エスメタルAチーム	1200ピン

[個人の部・男子]

優勝	近藤 亮二(清水特殊鋼)	376ピン
準優勝	竹中 清(清水特殊鋼)	352ピン
3位	平井 隆(エスメタルAチーム)	350ピン

[個人戦・女子]

優勝	鈴木 菜生(野村鋼機Aチーム)	303ピン
準優勝	渡辺 文乃(愛知製鋼)	280ピン
3位	斉藤 由実子(中山商工)	279ピン



第12回目の開催となった「はがねの日」ボウリング大会は16社・25チームが参加し、碓井達郎大会会長、山田雅郎実行委員長、大塚章平実行委員による始球式で開幕した。毎年、接戦となるハイレベルのゲーム結果は、清水特殊鋼が団体三連覇を果たし、個人男子でも1、2位を獲得した。団体優勝チームと準優勝の伊藤忠丸紅特殊鋼Aチームは、10月に開催予定の全国大会に出場することになった。ゲーム終了後には懇親会も行われ、会社の垣根を越えた社員同士の交流も図られた。



大阪支部 4月16日(土) ファミリーコンサート 於：大阪市中央公会堂

入場者数：約700名

はがねの日の恒例イベントとして今年で6回目を迎えたファミリーコンサート。例年どおり京都大学交響楽団OBを招いて開催された公演に先立ち、福原實晴支部長は「音楽とともに中央公会堂のレトロな雰囲気の空間も楽しみながら非日常を感じてください」とあいさつ。ファミリーを対象にクラシックに親しみをもってもらおうと選曲されたオープニングは映画「スターウォーズ・メドレー」。合間には指揮者体験コーナーも行われ、休憩後の後半はモーツァルトの歌劇の中でも人気が高い「魔笛」を、ストーリーの語りと字幕付きで流しながら鑑賞する、趣向を凝らした構成となった。





[成績]2ゲームトータルピン数・3人1組(女性
HC：1ゲーム20)

総合優勝	AK1チーム(愛鋼)	1,093ピン
2位	ナカトク2軍チーム(中島特殊鋼)	927ピン
3位	さくらチーム(桜井興産)	899ピン
個人優勝		
男性	愛鋼 宮川吉郎	421ピン
女性	桜井興産 西野芳子	322ピン

多数の参加があり白熱したゲームとなった。個人女子は西野芳子氏(桜井興産)が、見事五連覇を達成した。

ゲーム終了後は、樋支部長の乾杯の音頭で懇親会が始まり、他社との交流を深める中、恒例のチーム対抗三択クイズで大いに盛り上がった。

本年度は、ラウンドワン足利店(群馬県足利市)にて開催。第1回全特協全国ボウリング大会に出場に繋がるとあって、参加者41名が真剣に2ゲームを戦い抜いた。渋木幸男氏(小山鋼材)が大差をつけての二連覇を達成した。



[成績]2ゲームトータルピン数

優勝	小山鋼材	渋木幸男	377ピン
準優勝	鈴木機械	鈴木至典	304ピン
3位	マクスコーポレーション	中嶋卓	304ピン

前日までの雨は上がり、熊本地震の直後にも関わらず過去最大の142名の参加者を得た。冒頭に辻田支店長(陽鋼物産)の音頭で震災に遭われた方達へ黙祷を捧げ、強風の中ゴミ拾いに励んだ。家族連れの参加者も多く、子供たちのゴミ拾いの熱心さに感心させられた。その後、ドームで東北楽天との野球観戦を行い、劇的なホークスの勝利に皆様酔いしれ、ドーム内の花火・ルーフオープンまで堪能できた。来年も参加したいと言う声があちらこちらで聞こえた。



平成27年度 特殊鋼販売加工技士[上級編]資格認定式



全特協では平成28年5月17日(火)、東京・中央区の鉄鋼会館において特殊鋼販売加工技士[上級編]の資格認定式を開催した。今回、新たに認定された有資格者は60名で、支部ごとの合格者内訳は東京支部16名、大阪支部21名、名古屋支部23名であった。

認定式では、中川特殊鋼の井口陽介氏(東京)、佐藤商事の本山雄一郎氏、堀田ハガネの河角直紀氏(いずれも大阪)、サハシ特殊鋼の角田彦弥氏(名古屋)が各支部を代表して佐久間会長より資格認定証を授与され、佐久間特殊鋼の真壁晴香氏が合格者を代表して答辞を述べた。

認定式終了後は祝賀懇談会が開催され、無事資格取得した合格者を称えるとともに特殊鋼業界の時代を担う若手エースたちの人材交流も図られた。

会長あいさつ



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会
会長 佐久間貞介

この資格は、機械図面の基礎を業界で活躍されている多くの皆様に学んでもらい、日常の営業活動に加工を付加して仕事の質を上げていくことを目的としています。特殊鋼販売技士・販売加工技士研修制度は、当協会の活動の中でもっとも重要な事業であり、今年度の事業計画の中でも中長期的な観点から業界の足固めをしっかりとするため人材育成事業を充実することをうたっています。当業界においても人材は事業を行う上での要です。今回、合格された皆様は特殊鋼流通業界の加工のスペシャリストとして業界の趨勢を担い、加工技士資格認定者としての誇りをもって業界をリードされていくことを期待しています。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長
山下隆也 様

佐久間会長からもあったように日本の鉄鋼業の強みというのは、やはり人材です。特に特殊鋼流通加工においては、商材やその加工も非常に多岐にわたっており、ユーザーのニーズも非常に高いレベルにあり、それを実現するために必要な人材こそが皆様方で、まさに日本の鉄鋼業の足腰を支えている存在です。昨今、世界的な供給過剰などで鉄鋼業全体は苦しい局面にありますが、他の国の鉄鋼メーカーと比べると日本の鉄鋼業はまだまだ踏み止まっている状況にあり、いまが難伏のときかも知れませんが、数年後には必ず、この苦難の時期を堪え忍んだ鉄鋼業界の皆様の地道な努力が花を開くはずだと思っています。

講評



検定試験委員会
委員長 湯野沢栄勝

忙しい仕事の後にしっかりと勉強されて見事合格したわけで、よく頑張られたと思います。試験問題を作らせてもらった関係もありますので、試験を受けて合格して、それで終わりになるということでは問題があります。毎年、この話しはしていますが、皆さんが努力して得た合格ですので、それをいかにこれから先に使っていくか。試験を受けて合格するのが目的ではありません。できるだけうまく、この成果をエンドユーザーであるお客さんのために、どう使っていけばいいかということを考えながら実践するチャンスです。これから先、いろいろな試練が待っているとありますが、どうかこの成果をうまく活用してください。

答辞



資格認定者代表
佐久間特殊鋼(株) 真壁晴香

この度は特殊鋼販売加工技士[上級編]の資格をご認定いただきありがとうございます。特殊鋼の流通・販売に携わる者として大変名誉であり誇りに思っております。受講の際には名古屋支部講師の大同大学・井上教授には実体験に基づいた講義をしていただき大変感謝しております。現在の特殊鋼流通業界を取り巻く環境と、それに伴う商取引の形態は、年ごとにお客様のニーズが多様化してきております。こうした変動の時代を勝ち抜くためには、お客様との情報交換を密にし、受け身ではない提案型の営業をしていかなければなりません。その為にも今回学んだ特殊鋼加工の知識を礎に、より高い知識を身に付け、付加価値を高めた商品・情報をお客様へ迅速に提供し、信頼される営業を目指してまいります。

祝賀懇談会あいさつ



副会長 湊義明

当業界も流通だけのポジションから流通加工業という会社がたくさん増えてきました。お客様のニーズも材料の形態ではなく、完成品もしくはそれに近い形でなければダメですよ、というお客さんが増えてきました。工程の省略や納期短縮、コスト縮減などお客様へのメリットが出るわけなので、この傾向はもっと進んでいくはずで。合格された皆様は、加工技術の知識を大いに習得していただいて、これから大いに羽ばたいていかれることを願っています。



副会長 福原實晴

この資格に合格された営業職の皆さんは、特殊鋼販売技士1級をもっておられる方がほとんどだと思います。そうすると、完璧な営業マンです。でも、営業は資格を持っているだけではダメなんです。営業マンとして対人関係をつくる、信頼を得る、頼まれたら人よりも早くやるというスピード感も大事です。4科目の受験で3科目が各100点なら1科目50点でも試験には通りますね。でも、営業マンは満点がいくつであっても50点があったら全部がダメになります。平均点70点でもいいから総合力勝負です。勉強されたことを活用していくためには、そうしたことも心に留めて仕事をしてください。ご活躍をお祈りします。

平成27年度 特殊鋼販売加工技士「上級編」合格者名簿

平成27年度 特殊鋼販売加工技士「上級編」合格者数

支部名	受験者	合格者
東京	27	16
大阪	24	21
名古屋	23	23
合計	74	60

■成績優良者：5名

〔大阪支部〕

本山雄一郎 佐藤商事(株)
河角 直紀 (株)堀田ハガネ

〔名古屋支部〕

下山 法子 クマガイ特殊鋼(株)
真壁 晴香 佐久間特殊鋼(株)
角田 彦弥 サハシ特殊鋼(株)

東京支部

合格者16名

高橋 祐平 浅井産業(株)
吉野 敦 (株)U E X
杉山 聖一 第一鋼業(株)
小林 広司 第一熱処理工業(株)
太田 一孝 大洋商事(株)
滝澤 知也
白石 竜大 東京ハガネ(株)
井口 陽介 中川特殊鋼(株)

中川 裕雅
田付 裕之 日鉄住金物産(株)
川崎 尚人 阪和興業(株)
伊藤 舞 (株)ハヤカワカンパニー
間部裕太郎 (株)平井
平井 智也
藤城 経真 (株)マクスコーポレーション
折原 光則

大阪支部

合格者21名

鈴木 雅人 植田興業(株)
中野 亮介 (株)UEX
橋口 秀人 ウメトク(株)
中村 翔太
前出 直大 加藤鋼材(株)
田原 誠也 北島鋼材(株)
藤里 禎弥 櫻井鋼鐵(株)
矢次 良成 佐藤商事(株)
谷口 直人
本山雄一郎
中西 祐樹 三和特殊鋼(株)
上村 晃輝
西山 航太
西 信親 (株)末広工業
池田 遼平 大博鋼業(株)
河原 一斗
川中 直樹 デルタスチール(株)
北川 陽平 (株)トキワ商会

根本 義矩 (株)巴製作所
河角 直紀 (株)堀田ハガネ
室屋 司 陽鋼物産(株)

名古屋支部

合格者23名

千葉 祥悟 愛鋼(株)
川端 宣嘉 ウメトク(株)
鈴木 佳祐
足立 拓寛 クマガイ特殊鋼(株)
下山 法子
吉田 京平
近藤竜太郎 (株)近藤ハガネ商店
安藤 大輔 佐久間特殊鋼(株)
小野 和也
真壁 晴香
角田 彦弥 サハシ特殊鋼(株)
岡村 靖朗 (株)三悦
宮崎 悠
片平 雄 孟鋼鉄(株)
田畑 裕継
村越 信行
北村 泰之 辰巳屋興業(株)
櫛 芳之
川端 卓馬 中島特殊鋼(株)
水谷 航平
二宮 正樹 (株)ハヤカワカンパニー
平林 諒
諸橋 貴明

[シリーズ連載] 第10回 豫洲短板産業株式会社 いま世界へ！各社が取り組む海外展開事例

国内の消費不振に加えて輸入鋼材の調達が一般化するなど、特殊鋼の国内需要が頭打ちとなる中、ここ数年来の為替変動リスクにも対応するため、自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産シフトが続いている。そうした背景から、総合商社だけにとどまらず特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず、海外に拠点展開することが顕著になっている。海外展開にあたり留意点は何か。シリーズ第10回目は、2010年の中国法人設立以来、丹念な市場調査とマーケティングの末に、発電プラント事業を軌道に乗せつつある豫洲短板産業の森晋吾社長にお話をうかがってみた。



代表取締役社長
森晋吾

社員研修から社会貢献事業まで 全社的なモチベーションのため海外意識を刺激

日本での強みが強みとならない 現地ニーズに苦戦した進出当初

森社長が海外進出を考えはじめたのは、2000年に出向した三菱商事で、さまざまな海外情報を得るようになってからである。2002年に豫洲短板産業に戻り、その翌年から中国視察を開始し、急成長中の中国市場を目の当たりにして「この市場にチャレンジしなければいけない」という思いを強くしたと。

そこで、2008年には日系企業での勤務経験もあり日本の大学院を修了した中国人青年を採用して市場調査を行いながら、2010年8月に上海に現地法人を立ち上げた。市場調査からローカルでの需要を探るといふかたちで営業を開始した上海法人だったが、当初は「トライ&エラー」の連続だったと森社長は振り返る。最初は日本の鋼材の高い品質をアピールしながら営業したが、必ずしも受注に結びつかなかった。「日本で強みだと思っていることが強みにならない。簡単にいえば材料に日本ほど品質を求めている」ということだった。中国材をローカルで販売することにも取り組んだが、「仕入先の確保とともに、成長から成熟へと転換していく市場への参入の難しさも実感しました」と振り返る。

環境向け加工技術を生かし 火力発電プラント事業に特化する

一進一退の展開が続いた中国で転機が訪れたのは2014年。現地で営業力も技術力もあるローカルのエンジニアリング会社と連携して、豫洲短板産業が持っている環境対応の加工技術を活用した火力発電プラント事業に参入することになっ

た。「当社が担うのは、日本の技術を現地パートナーにつなぐスーパーバイザー的な役割です」と、法人設立から6年目で獲得した大型案件に期待を寄せる。この火力発電プラント事業に特化するため、今年1月には現地パートナー企業と合弁で「上海国豫環保技術有限責任公司」を設立。当面は中国北部エリアで事業展開していくが、今後の全国展開とともに3年間で年商10億円程度を見込んでいる。

社員研修のほか現地での社会貢献も 意識した海外事業戦略

さまざまな試行錯誤を繰り返してきた数年間、成果の見えにくい海外事業の意義を日本の社内向けにアピールし、モチベーションを維持し続けてきた取り組みも重要だ。

「2012年には全社員を上海の研修旅行に参加させました。現地の加工業者を視察するなどしながら、全社的に海外への意識付けを絶やさないようにしてきました」と森社長。さらに、日本国内での中国人実習生の継続的な受け入れや中国人留学生の雇用など、中国ビジネスは決して遠いものではないという感覚を培ってきた。

さらに、「現地社会への貢献も必要」との思いからはじめた、四川省涼山の少数民族「イ族」の子供たちへの学業支援も7年間続けている。こちらも毎年社内から希望者を10名程度募り、山岳地帯に暮らす子供たちを訪問し、交流を続けながら現地

社会との結び付きを浸透させている。

サプライチェーンの一員として アジアの産業貢献も意識した成長を

今後、豫洲短板産業の海外事業は本格化してきた中国での火力発電プラント事業を拡大しつつ、ASEAN地域での活動にもより注力していく。ステンレス建材部材を中心に販売するタイ現地法人とともに、2013年11月にはベトナムで日本のステンレスパイプ商社と合弁でステンレス商材全般を在庫し、切断から加工、販売までを行う現地法人を立ち上げ、今年から本格稼働している。

森社長は、海外事業の意義について「私たちの使命は、日本の製造業がうまく機能するためのサプライチェーンの一員として、そのノウハウを海外の日系メーカーへも生かして、アジアの製造業発展に役立つことです。そのための機能は、どの会社も備えており、市場をつかめば日本の流通業なら誰でもできるはず」と語ってくれた。



「上海国豫環保技術有限責任公司」設立調印式での森社長

理事会・委員会報告

■理事会

○第9回理事会

日時：平成28年3月28日 16:00～17:10 於：鉄鋼会館
内容：第1号議案 平成28年度事業計画書(案)承認の件
第2号議案 平成28年度収支予算書(案)承認の件
第3号議案 第4回定時総会及び協会創立20周年記念事業について
第4号議案 組織規程及び支部運営規定の変更承認の件
第5号議案 個人情報取扱規程の制定の件
報告事項：①委員会報告について
②今後のスケジュールについて

○第10回理事会

日時：平成28年5月17日 15:30～16:30 於：鉄鋼会館
内容：第1号議案 平成27年度事業報告書(案)承認の件
第2号議案 平成27年度収支決算書(案)承認の件
第3号議案 第4回定時総会の招集及び決議事項承認の件
第4号議案 協会創立20周年記念行事に関する件
報告事項：委員会報告について
自由討議：協会の課題についての討議

■運営委員会

○第12回運営委員会

日時：平成28年3月28日 14:00～15:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成28年度の事業計画と同年度の収支予算について
2. 第4回定時総会及び協会創立20周年記念事業について
3. 規程類の変更について
4. 会員制度における従業員の数え方について
5. 会員名簿の作成及び連絡網の整備について
7. 全国イベントの開催について
8. その他 今後のスケジュールについて

○第13回運営委員会

日時：平成28年5月17日 14:00～15:20 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成27年度の事業報告と同年度の収支決算について
2. 第4回定時総会について(議事次第、役員交代について)
3. 定時総会および創立20周年記念事業の実施概況について
4. 会員状況について(会員の入退会について)
5. 支部報告について
6. その他

■総務委員会

○第9回総務委員会

日時：平成28年3月17日 15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館
内容：1. 平成28年度の事業計画及び収支予算について
2. 第4回定時総会及び20周年記念事業について
3. 規程類の変更について
4. 会員制度における従業員の数え方について
5. 会員名簿の作成及び連絡網の整備について

○第10回総務委員会

日時：平成28年4月26日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成27年度の事業報告及び決算について
2. 協会創立20周年記念事業について
3. 会員名簿の作成及びホームページの刷新について
4. その他 次回総務委員会は、今秋行う

■人材育成委員会

○第9回人材育成委員会

日時：平成28年3月1日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成27年度人材育成事業実績見込について
2. 教材レビュー WG活動報告について
3. 資格取得時の認定証のプラスチックカード化実施について
4. 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について
5. 販売技士制度の課題について

○特殊鋼販売加工技士上級編資格認定式

日時：平成28年5月17日 17:00～19:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 経済産業省製造産業局・山下鉄鋼課長御挨拶
2. 特殊鋼販売加工技士上級編資格認定証授与
3. 祝賀懇談会

○第10回人材育成委員会

日時：平成28年7月12日 15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館
内容：1. 平成27年度販売加工技士「上級編」検定試験結果報告について
2. 平成27年度収支実績、平成28年度事業計画及び予算について
3. 平成28年度人材育成事業年間予定報告について
4. 教材レビュー WG活動報告について
5. 資格取得時の認定証のプラスチックカード化について
6. 特殊鋼販売技士、販売加工技士の制度の課題について

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○第4回教材レビューワーキンググループ

日時：平成28年3月9日 13:00～16:00 於：安保ホール
内容：1. 第9回人材育成委員会議事録報告について
2. 第3回WGの議事録報告について
3. 特殊鋼販売技士2級指導要領データのメンテ作業について
4. 平成28年度人材育成事業日程及び支部別予定表について

○3級講師事前打合せ

日時：平成28年4月21日 15:00～16:30 於：大阪・鐵鋼會館
内容：1. 平成28年度人材育成事業年間予定等について
2. 平成28年度3級研修講座の講師事前打合せ
3. 認定カードのプラスチック化報告について
4. 全特協創立20周年記念事業への招待の宛先について
5. ゼントクマンのラインスタンプ作成について

○3級問題選定会議

日時：平成28年6月3日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の試験問題概要について
2. 採点依頼について
3. 検定試験、合否判定会議のスケジュールについて

○3級合否判定会議

日時：平成28年7月20日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の合否判定について
2. 講師講評
3. 検定試験委員長総評
4. 人材育成委員長コメント

【特殊鋼販売加工技士検定試験委員会】

○合否判定会議

日時：平成28年4月13日 15:00～16:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売加工技士「上級編」合否判定について
2. 講師講評について
3. 検定試験委員長総評について
4. テキスト改定について

■調査研究委員会

○第12回調査研究委員会

日時：平成28年3月23日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 第76回(10-12月)景況アンケート調査報告
2. 第77回(1-3月)景況アンケートの設問について
3. 第14回経営環境に関するアンケートの調査結果報告について
4. 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について
5. 特殊鋼流通統計調査及び景況アンケートのメール配信化について

○第13回調査研究委員会

日時：平成28年6月23日 15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館
内容：1. 第77回(1-3月)景況アンケート調査報告
2. 第78回(4-6月)景況アンケートの設問について
3. 平成28事業計画及び予算の報告について
4. 統計調査について
5. 次回委員会日程他

■内外交流委員会

○第6回内外交流委員会

日時：平成28年3月4日 17:00～18:00 於：名古屋・尾州会議室
内容：1. 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について
2. 平成28年度の海外視察研修について

■広報委員会

○第10回広報委員会

日時：平成28年7月5日 15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼會館
内容：1. 広報誌「すてぃーる59号」の記事校正確認等について
2. 広報誌「すてぃーる60号」の記事内容等について
3. 平成28年度事業計画及び予算について

■青年部会

○第4回青年部会総会

日時：平成28年6月10日 12:30～13:00 於：東北・仙台会議室
内容：第1号議案 平成27年度事業報告及び収支報告承認の件
第2号議案 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件
第4号議案 顧問(候補)承認の件

○第10回運営委員会

日時：第4回定時総会と同じ
内容：1. 審議事項 部会長・副部会長選任について
2. 第11回運営委員会の日程及び開催場所について

○工場見学会実施

日時：平成28年6月10日 13:10～16:30
内容：1. 東北特殊鋼㈱
2. 大同DMソリューション(株)仙台工場

事務局だより

1 経済産業省の組織再編及び人事異動について

6月の製造産業局の組織再編により従来の鉄鋼課と非鉄金属課が合併し、新たに「金属課」になりました。この組織再編により「成瀬輝夫課長補佐」が、資源エネルギー庁石油流通課にご転出となりました。後任の流通加工・鉄鋼製品担当は、「岡田治課長補佐」がご担当されます。また、「後藤真由美係長」が業務管理官室へ異動され、後任に旧非鉄金属課の「沖真知子係長」が引き継ぎますので今後共々よろしくお願い致します。

2 協会事務局の人事異動について

(1) 専務理事(兼事務局長)が交代

約3年半専務理事としてご活躍されました「林健三氏」が6月6日開催の臨時理事会において退任され、新専務理事に元経済産業省の「宮崎義一」が選任されました。



宮崎義一

【略歴】

昭和49年4月 経済産業省入省
平成 9年7月 鉄鋼課 課長補佐
平成15年7月 原子力安全・保安院企画調整課 課長補佐
平成17年7月 NEDO研究開発推進部 主幹

平成19年6月 大臣官房情報システム厚生課 課長補佐
平成28年3月 定年退職

【趣味】

水泳・旅行

(2) 本部総務部及び東京支部事務局

約10年間、本部総務部長兼東京支部事務局長としてご活躍されました「片野宏氏」が4月30日付にて退職されました。その後任として元大同スペシャルメタル(株)の「丸本茂樹」が4月1日付にて就任しました。引き続き全国及び東京支部の会員の皆さんよろしくお願い致します。

(3) 名古屋支部事務局

名古屋支部事務局長として2年間活躍されました「野口雅丈氏」が6月1日付にて愛知製鋼(株)に復帰され、その後任として愛知製鋼(株)より6月1日付にて「山内浩次」が就任しました。また4月1日付にて2年間名古屋支部で活躍されました「田中智子氏」が大同特殊鋼(株)に復帰され、その後任として、4月1日付で大同特殊鋼(株)より「秋田幸枝」が赴任しました。引き続き名古屋支部の会員の皆さんよろしくお願い致します。

3 「イタリア特殊鋼関連業界視察研修」参加 22名を予定(内外交流委員会)

当協会の内外交流委員会では、今年度も海外視察研修として9月17日(土)より6泊8日の日程でイタリアを訪問します。5月20日より募集を開始し6月20日に締め切った結果、22名が参加することになりました。次号(60号)にて視察研修の様子をご報告させていただきます。

4 特殊鋼販売技士「2級研修講座」の開講について

平成28年度は特殊鋼販売技士研修制度として4月の「入門編講座」からスタートし、5～7月に「3級研修講座」を開講しました。そして、7月6日全国一斉に「3級検定試験」を実施し、317名の資格認定者が新たに誕生しております。また、8月下旬～10月に掛けて「2級研修講座」を各支部にて開講する予定です。研修内容は特殊鋼の鋼種別熱処理に関する基礎知識についてであり、30時間の研修講座にて習得した後、10月19日全国一斉に検定試験を実施する認定制度になっております。受講資格は、昨年度以前に「3級研修講座」を受講し「3級資格認定」を有する者となっております。現在、東京・大阪・名古屋・北関東・九州の支部事務局より開講のご案内をしておりますので、受講を希望される方は開講予定の各支部事務局へお申込みください。

5 統計調査のメール配信について

当協会からの「特殊鋼流通調査集計表」や「景況アンケート調査」は、希望される会員各位にはメールでの配信及び返信にシフトしております。メール配信を希望される方は以下の書式にてご送信下さい。但し、配信先は1会員(含む支部会員)につき1件とさせていただきます。件名：統計調査 宛名：toukei@zentokkyo.or.jp
なお、メール配信を希望されない方は従来通り郵送にて送付させていただきます。

編集後記

会員、賛助会員の皆様方!!! 暑中お見舞い申し上げます。すてぃーる59号を発行致します。さて、今号は当協会、創立20周年式典と第4回定時総会の模様を中心にお伝えしております。こうして歴史を積み重ねてこれたのも皆様の御蔭とひしひしと感じており今後の運営に更に身の引き締まる思いです。

特殊鋼全体の景気は低迷しており先行き不透明ですが英国の問題、参院選、も軟着陸しました。今後の米国を中心とする、製造業の復活に期待しましょう。酷暑が続きます。どうかお身体御自愛ください。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者/久木田 至